

検索キー	1033
写真画像	A-0034
シートNo	W0034

撮影月	5月
撮影場所	坂田
メッシュ番号	4890

花の名前	カラスビシャク
------	---------

『周西・三舟 花紀行』

周西の夏編 P34

～夏の日の風景～



- ・和名：烏柄杓 ※別名 半夏
- ・科名：サトイモ科
- ・名前の由来；花は頭巾の形をしていることから仏炎苞（ぶつえんほう）と呼ばれ、柄杓のように見える。人間が使う柄杓よりも小さいので「カラス」がついた。
- ・特徴；道端や畑地に自生する。開花期は5～8月、ウラシマソウによく似ていますが、ウラシマソウよりも小さい。暦の上の「半夏生（はんげしょう）」は、夏至から11日目（7月2日頃）のことで、カラスビシャクはこの頃に花が咲きます。